



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

vol.32

新年のご挨拶

理事長 中村英次郎

明けましておめでとうございます。皆様には、晴々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、最近、私の周りで「優しい人」が増えています。気のせい、ではないと思います。家族やお年寄り、病気の人や弱い人に対して、思いやりや寄り添う気持ちを持つ優しい人が増えているのです。先日、私の外来診察で、高齢のご婦人患者に在宅自己注射（自宅で自分で注射をする薬物療法）を処方した時、「ご自分で毎日注射するのは難しいでしょうか？」と尋ねると、付き添っていた息子さんが「いえ、僕が毎日必ず責任をもって見守り介助しますから、母には一番良い薬を処方してください」と言いました。優しい人は他にもいます。週3回必ずお姑さんのリハビリ通院の送迎をするお嫁さん、身の回りの世話、トイレ介助も全てこなします。高校生の弟の通院に仕事を休んで遠くから駆けつける姉。末期癌の祖母のブロック注射に付き添ってくる中学生の孫（注射の時、横で必ず手を握っています）。「彼のギックリ腰、何とかして〜!!」と涙

目で訴える彼女。認知症の奥さんの車いすをゆっくり押す高齢男性、時折頭を撫で、優しく言葉をかけます。患者さんを思いやり、心配し、自分の痛みのように心がつながっている「優しい人」は、私の周りで確実に増えている気がします。戦争、分断、格差、闇バイト・暗いニュースが多い中、私の周りは、なんだか、ほっこりとうれしい方向に流れているように感じます。

ですから、こちらも頑張ります。患者さんと家族の思いに応えられるように、医師も看護師も気を張ります。患者さんやご家族が望んでいることは何か。医療者も「家族目線」で考えること。「家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます」は、当院基本方針の一つであり、最も大切にすべき考え方です。当院職員も皆「優しい人」でなければなりません。

先日、外来診察が混み合い、診察の待ち時間が長くなった時のこと。最後の患者さんを何と4時間も待たせてしまいました。「大変お待たせして申し訳ありません」先に謝りました。長身がちりした強面の男性。怒っているかと思いきや、「いや〜先生こそお疲れじゃないですか？先生も健康気を付けてくださいね！」とのこと。あざっす。どっちが医者なんだか？



本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

▲小学4年生の女の子からいただきました

骨粗しょう症・回コモ教室

明野こつこつ・回コ講座

骨粗しょう症やロコモティブシンドローム（運動器症候群）について理解し、健康寿命を延ばそうという勉強会、骨粗しょう症・ロコモ教室「明野こつこつ・回コ講座」を昨年11月16日（土）に開催しました。2019年以降、新型コロナウイルス感染症流行により開催できず5年ぶりの開催となりました。当日は、地域住民の方46名にご参加いただきました。

整形外科専門医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなどの専門職がチームを組んで、楽しく勉強できるように企画を練りました。



▲原院長による骨折についての講話

た。講座では、原院長による骨折についての講話や、看護部による「フレイルチェック」で自身の体の状態を知った後、リハビリスタッフによる骨粗しょう症対策の運動を行いました。加齢により身体能力は低下しますが、日頃の生活習慣によって、健康な生活は維持できます。参加者からは、「運動をして楽しかった」「大変参考になった」などたくさん嬉しい感想をいただきました。

当院は今後とも地域の皆様の健康づくりに少しでも貢献できるような情報を発信していきます。



▲リハビリスタッフによるストレッチ体操

PCAボタンってなに？



▲大研医器株式会社
クーデックエイミー PCA

PCAボタン（自己調整鎮痛法）とは、手術後の患者さんが痛みを感じた時、自分でボタンを押して、予め設定された鎮痛剤を自動的に投与できる装置です。従来使用していた装置は軽量で使いやすい一方、薬剤の投与量や時間などの細かい設定ができないため、追加投与毎に看護師による安全確認が必要でした。今回導入した装置は、専用のスマートフォンを用いて細かい設定が行えるためより安全であり、看護師による都度の確認は不要です。例えば、「夜中に何度も看護師を呼ぶことに気兼ねして痛みを我慢した」から、「痛くなってきたから自分で痛み止めを投与したら楽になった」に変わります。手術後の痛みや慢性痛の管理に本装置を活用していきます。

入院案内AI化 地域医療連携室

これから入院される方に安心していただけるよう、当院では必要な書類や持ち物、入院中の注意点などを解説した短い動画を制作しました。この動画はAIを活用しており、説明内容に沿って画像生成された写真やイラストを使用し、自然な抑揚のAIナレーションが聞き取りやすい声で解説するなど、高齢の方にもやさしい仕上がりとなっています。入院が決定した際に、付き添いの方と一緒にお部屋でご覧いただけますが、「もっと詳しく知りたい」「もう一度確認しておきたい」など気になる点がございましたら、視聴後にお伺いする看護師へお気軽にご相談ください。

持ち物リスト	
タオル（2、3枚程度）	バスタオル（2、3枚程度）
洗面器	ボディーソープ・石鹸
シャンプー	電動ひげそり（1字カミシリ不可）
歯ブラシ（歯磨き粉・コップ）	ストロー（飲み、食の曲がるもの）
スプーン、フォーク、おはし（ケース付き）	コップ（割れにくいもの）
マスク（手拭きのもの）	留置器（病院で借りる場合は不要）
トレーニングウェア（2、3着） 衣類しやすい着脱が得意	くつ（スリッパ不可 かかとのあるもの）
下着（着の手前をされる方は前開きのシャツ、人工股関節の方はやや大きめのもの）	ティッシュペーパー（湿のりもの）

▲画面の内容についてAIの音声で説明します。

第43回大分国際車いすマラソン

昨年11月17日、第43回大分国際車いすマラソンが開催され、12ヶ国41人の海外選手を含む190人の車いすランナーが晩秋の大分市街を駆け抜けました。この大会は、1981年の国際障害者年を記念して、当院創設者である中村裕の提唱により始まりまし。今年も「一般社団法人中村裕パラスポーツサポートミーティング」を通じて、中村裕賞の協賛、

ファーストチャレンジアシスト（本大会初出場の選手への支援）の他、救護ボランティアとして医師、看護師、リハビリスタッフが参加しました。

昨年は、中村裕没後40年となる年であり、本大会は、障がい者福祉とパラスポーツの普及、発展に生涯をささげた創設者の遺志を改めて確認する大会となりました。

走り続ける博士の志

中村裕パラスポーツサポートミーティング



大会開催は、ランナーの健康、健常者の社会参加、地方にスポーツの風を、中村裕生（1937-2024）が後押しされた。世界のあちこちで、ランナーが走り続けた。大会は、中村裕の志を継承し、パラスポーツの普及、発展に生涯をささげた創設者の遺志を改めて確認する大会となりました。

没後40年、選手支援を継承



第43回 大分国際車いすマラソン
 昨年11月17日、第43回大分国際車いすマラソンが開催され、12ヶ国41人の海外選手を含む190人の車いすランナーが晩秋の大分市街を駆け抜けました。この大会は、1981年の国際障害者年を記念して、当院創設者である中村裕の提唱により始まりまし。今年も「一般社団法人中村裕パラスポーツサポートミーティング」を通じて、中村裕賞の協賛、

▲ 2024年11月18日（月）大分合同新聞掲載



▲ネパールの選手をサポートする理学療法士



▲ファーストチャレンジの選手たち

新任医師紹介



織部 元廣

外来診察 月曜・火曜・金曜
 午前及び午後

大分赤十字病院の副院長、リウマチ科部長として20年以上救急医療、専門医療の第一線で勤務しました。2006年にJR大分駅近くに「織部リウマチ科内科クリニック」を開業し、リウマチ治療の第一人者として県内外の多くの患者さんの治療にあたってきました。内科全般、特に関節リウマチの治療、研究分野で豊富な知識と経験を持つ専門医であり、リウマチに関する多くの書籍も出版しています。柔道2段、空手2段。作詞作曲も手がけ、病氣と向き合う患者さんとそれに寄り添う医療者の心情を歌うギターの弾き語りも、多くの人の心を癒してきました。昨年10月、クリニックを閉院・事業継承し、今月当院に着任しました。

- ・ 日本内科学会認定医
- ・ 日本リウマチ学会指導医、専門医、評議員
- ・ 日本臨床リウマチ学会理事



外来担当医師のご案内

QRコードを読み込むと当院ホームページの「外来担当医表」「医師不在予定」のページへアクセスできます



担当医師名		月	火	水	木	金	土
内科	明野中央 在宅医療介護センター長 木下 昭生	午前 ○ ○ ○ ○ ○ ○					
		午後					休診
	宮崎 真理	午前					
		午後 ○ ○ ○ ○ ○ ○					休診
外科	織部 元廣	午前 ○ ○ ○ ○ ○ ○					
		午後 ○ ○ ○ ○ ○ ○					休診
	山中茉莉夢	午前		○			
		午後					休診
形成外科	形成外科・手外科部長 大久保ありさ	午前 手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○			手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		
		午後 手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	15:00~		手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	15:00~	休診
	◎大久保の診察は、原則として予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。						
	橋本 裕之	午前			手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		
	午後 ○ ○ ○ ○ ○ ○						休診

担当医師名		月	火	水	木	金	土
整形外科	理事長 中村英次郎	午前 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○				
		午後 手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	15:30~	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		休診
	こつ・かんせつ・リウマチ センター長 藤川 陽祐	午前 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		休診
		午後 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		休診
整形外科	院長 原 克利	午前 手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		
		午後 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		休診
	副院長 こつ・かんせつ・リウマチ センター 脊椎外科部長 吉岩 豊三	午前 手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		
		午後 手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		休診
整形外科	松本 博文	午前 手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		
		午後 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		休診
	◎松本の診察は、原則として予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。						
	荻本 晋作	午前			手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○		
	午後				○		休診
ペインクリニック	金子 剛士	第1金曜午前・第1土曜午前 診察					
		◎金子の診察は、原則として予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。					
	痛みセンター長 高谷 純司	午前 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○				
		午後 ○ ○ ○ ○ ○ ○	手術 ○ ○ ○ ○ ○ ○				休診
◎ペインクリニックの診察は、原則として予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。							

INFORMATION

診療科目

内科・整形外科・リウマチ科
形成外科・リハビリテーション科
麻酔科・ペインクリニック内科
放射線科

受付時間

月曜日～金曜日 8:30～11:30
14:00～17:30
土曜日 8:30～11:30
日曜日・祝祭日 休診

病院理念

医療・介護を通じ、
患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一、家庭的な優しい医療介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進病気の予防に努めます

患者さんの権利について

私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利（セカンドオピニオン）



- 大分駅より車で20分
- 高城駅より車で10分
- 米良インターより車で10分
- あけのアクロスタウンより徒歩5分



医療法人社団 唱和会

明野中央病院

発行日 2025年1月
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号
TEL 097-558-3211 (代表) FAX 097-558-3709
E-mail owl@akenohp.jp
<https://www.akenohp.jp/>